

作業療法士

私の職業
My Occupation

作業療法士って？

作業療法士は「作業療法」をする人です。「作業療法」とは身体、精神、発達、高齢期の障害に対しその人にとって意味のある作業、即ち日常生活活動、家事、仕事、趣味、遊び、対人交流などを支援します。たとえば、歩く、入浴する、食べる、着替えるなどの動きを支援する仕事です。患者さんの自宅へ直接行って指導する訪問リハビリテーションもあります。



小野瀬 剛広さん

作業療法士

人の役に立てるうれしさと達成感

高校時代、バイクの事故で相手にケガをさせてしまって、ケガが治ってからもその人が元の暮らしに体が戻るのが大変なのを知りました。また祖父が体の動きに障害があらわれるパーキンソン病になり、家の中に手すりをつけたりして、介護の手伝いをしていました。そんな経験から、生活のためのリハビリテーションをする「作業療法士」になろうと思ったのです。リハビリテーションとは、病気やケガなどによって後遺症が残って、それを元の暮らしに戻すために行う体や心の支援、職業指導などをする事です。今の仕事はそれを病院のスタッフとしてやっています。ケガや病気で体が不自由になった患者さんの、回復への手助けを、いっしょに寄り添って、指導したりして、またそのお手伝いします。具体的には、歩く事や入浴、さらには食事することや着替えるなどのリハビリテーションです。健康な人なら普通にできる日常のなんでもない動きができなくなる。普通の暮らしに戻るための支援です。

その勉強をするために福祉系の大学に進学しました。作業療法士の資格を取ったのは22歳の時。卒業してすぐでした。その後、ここに就職して学んだ事を実践しています。が、実は今も大学へ週1回、仕事が終わった後に通っています。キャリアアップ、つまりもっと上をめざすために勉強しています。その勉強もおもしろいんです。この仕事は社会から求められる仕事です。体が不自由でぎこちない動きの患者さんが、自分が指導するリハビリテーションをする事で、目に見えて回復していくのは、とてもうれしく「人の役に立てた」というとても大きい達成感が得られます。これが今の自分の誇りですし、支えでもあります。



私の休日
My Holiday!



子供たちと満喫♪

週2日休めます。以前は友人とゴルフに行ったりしてましたが、最近は子供と遊ぶ事が多いです。6歳と4歳の二人です。保育園や小学校の行事によく行きます。運動会なんかですね。保護者として参加するので地域にも貢献できます。なにより子供たちと遊ぶのは楽しいです。家庭を持ったからこそその楽しみです。実は勉強もしています。仕事をしながら大学院へ通っているの、まとまった勉強は休みの日になります。この分野でめざすものがあるからやれます。

my history

